

ゆめ わらわ 夢 文章

菅波 茂

2013年7月3日から1週間。マレーシアのMSA創設者として、首都であるクアラルンプールに滞在。マレーシアで記念植樹の嫩入れを行国立大学にて第34回アジア医学生会議（AMSCA）が8日間開催された。20万国から400名以上が参加。記念すべきことはAMSA Alum i Club（AMSA-AC/同窓会）が設立されたことだ。初代会長はAMSAインドネシア支部OBでアフリリアン・エディ・ウィリアム（インドネシア大学医学部寄生虫学）。副会長には日本支部OGである柴田和香医師（旭中央病院）が就任。情熱あふれた。

る次世代である。私はMSA創設者として、特別スピーチに続き、壇上で記念植樹の嫩入れを行う榮譽をいただいた。アジアのみならず、エジプトや英国からも参加者があった。AMSAおよびAMDA共にアジア発である。アジアの時代が来ていると実感。AMDAとAMSA-ACは世界平和のために協力し合うことを確認した。更には、AMSA各支部の医学生たちがAMDAの実施する災害被災者に対する緊急人道支援活動に参加意欲を示してくれたことだった。

AMDAグループ地域統括事務所inクアラルンプール



前右3人目から左へ、柴田和香医師、岩永資隆医師、筆者

1979年、私と7名の岡山大学医学生がタイの国境にあったカンボジア難民キャンプに駆け付けたが、実績がない団体という理由で国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）から救援活動を

た。1980年に設立したAMSAの目的は「アジアのより良き将来とより良き医療」だった。AMSA設立から34年間の歴史。同窓生の活躍は目覚ましい。第1回議長長の牛尾光宏氏は厚生労働省大臣官房審議官（がん対策、国際保健担当）、第2回議長長の遠田耕平氏はWHO医務官としてベトナムなどで活躍、第3回議長長の安隆則氏は獨協医科大学日光医療センター心臓血管内科診療科長、第4回議長長の川上剛氏は国際労働機関（ILO）ジュネーブ本部衛生専門

家、第5回議長長の國井修氏はグローバルファンダ戦略投資効果局長。アジア

ア各国の中堅医師メンバガポール・チャンギ国際空港とバンコク・スワンナプーム国際空港がある。両者共に世界の格安航空機が発着している。2014年はAMDA設立30年である。AMDAグループの地域統括事務所をクアラルンプールに設置したい。AMDA

にはすでに800名が登録されている。AMSA-ACの設立を契機として登録数は数千名を超えたと推測される。AMDAとAMSA間の人間関係を一貫して担ってくれている岩永資隆医師（京都大学公衆衛生学助教）に改めて感謝したい。格安航空機の時代である。NGO活動にとって明瞭である。募金を最大限活用できる。マレーシアを拠点とする格安航空会社「エアアジア」は東アジア、東南アジアそして南西アジアの一部分を2、3時間の範囲でカバーしている。南北には世界をカバーしているシン（AMDAグループ代表